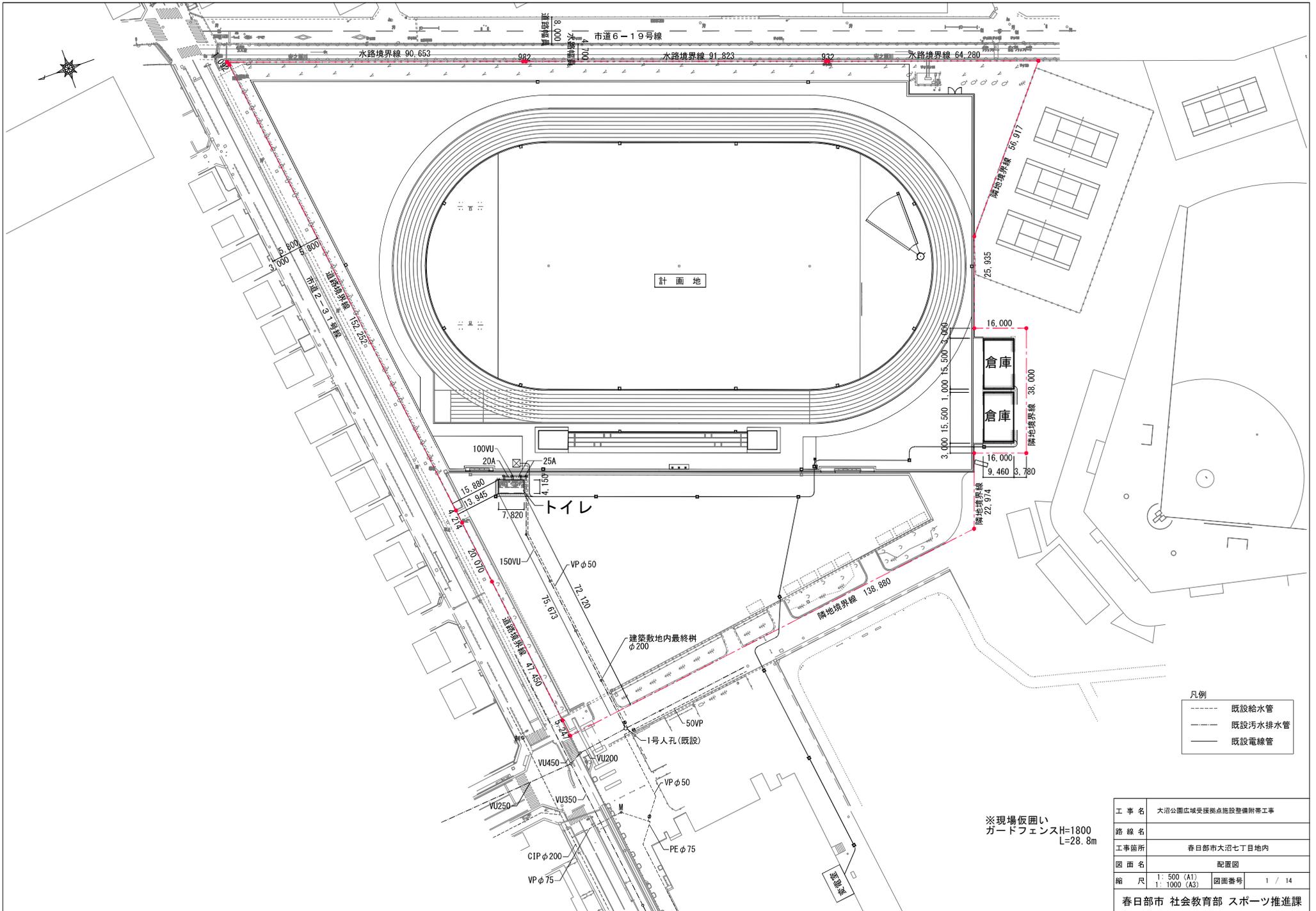






<p>⑥ コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの種類等 (6.2.1)</p> <p>Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)</p> <p>普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランプ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>・2.3程度</td> <td>・15又は18・18</td> <td>・基礎・土間</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>・2.3程度</td> <td>・8</td> <td>・均しコン</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值(S) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S = 3 (月日 ~ 月日、月日 ~ 月日) S = 6 (月日 ~ 月日、月日 ~ 月日)</p> <p>2 セメント (6.3.1)</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 (・)</p> <p>3 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m<sup>3</sup> 以下)</p> <p>4 混和材料 (6.3.1)</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)</p> <p>打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による ( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による ( )</p> <p>目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による ( )</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)(11.1.3) 図示による ( )</p> <p>6 湿潤養生 (6.7.2)</p> <p>湿潤養生の期間 セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日</p> <p>7 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table> <p>8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm</p> <p>打増し範囲 図示による ( )</p> <p>9 型枠 (6.8.2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ 合板 (※12mm ) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による ( ) MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による ( ) 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による ( ) スリーブの材質・規格等 図示による ( )</p> <p>存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による 普通エコセメントの場合 (※図示による ( ) )</p> <p>10 軽量コンクリート (6.10.1、2)</p> <p>適用箇所 図示による ( ) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スランプ ※21cm</p> <p>11 寒中コンクリート (6.11.1、2)</p> <p>適用期間 (月日 ~ 月日) 構造体強度補正值(S)を標準温度を基に定める場合 図示による ( )、S = ( )</p> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>適用期間 (月日 ~ 月日) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm<sup>2</sup> 図示による ( )、S = ( )</p> <p>13 マスコンクリート (6.13.1、2)</p> <p>適用箇所 図示による ( ) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱セメント ・低熱セメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による 標準仕様書6.13.2(2)(4)による ) スランプ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所	・21	・2.3程度	・15又は18・18	・基礎・土間	・18	・2.3程度	・8	・均しコン	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	種別	適用箇所	・A種	※図示による ( )	・B種	※図示による ( )	・C種	※図示による ( )	種別	適用箇所	・a種	※図示による ( )	・b種	※図示による ( )	・c種	※図示による ( )	<p>14 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm<sup>2</sup>) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ( )</p> <p>15 コンクリートの単位水量測定</p> <p>実施要領 (1)単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、TFA法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>	<p>7 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価書」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ ( ) グレード 指定しない ・監督員の承諾する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.3、4)</p> <p>3 鋼材 (7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JIS規格による</td> </tr> </table> <p>溶接垂始めつき工法の適用箇所 ・</p> <p>4 高力ボルト (7.2.2)</p> <p>ボルトの種類 ・トルシヤ形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めつき高力ボルト</p> <p>ボルトのねじの呼び 図示による ( )</p> <p>ボルトのねじの呼び 図示による ( )</p> <p>ボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>5 普通ボルト (7.2.3)(7.5.2)</p> <p>ボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 (7.4.2)(7.12.5) ・標準仕様書7.4.2(1)による 溶融亜鉛めつき面 ・フラスト処理 (表面粗度50µm Rz以上) ・フラスト処理以外の特別な処理方法 図示による ( ) すべり試験 ・行う (※すべり係数試験 図示による ( )) 試験の方法等 図示による ( )</p> <p>6 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>ボルトの種類、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>7 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)、(2)による ・標準仕様書7.2.5(1)、(2)以外の溶接材料 材料及び適用箇所 図示による ( )</p> <p>8 ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類 建築用ターンバックル ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル鋼 ※割弁式 ねじの呼び 図示による ( )</p> <p>9 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・デッキプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領 (補強筋の定長さ等を含む) 図示による ( )</p>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			・JIS規格による			・JIS規格による			・JIS規格による			・JIS規格による	種類	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート				・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造				<p>10 スタッド (7.2.8)(7.7.6)</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 図示による ( ) 耐火認定 ・あり (耐火時間 図示による ( )) 頭付きスタッド (JIS B 1198) の種類等 (7.2.8)(7.7.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。</p> <p>11 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(2)(7)から(i)による</p> <p>12 製作精度 (7.3.3)</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(3)による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアルによる</p> <p>13 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>試験の要領 図示による ( )</p> <p>14 溶接接合 (7.6.4)</p> <p>開先の形状 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分 (7.6.7) 切除する場所 図示による ( ) 切除範囲 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以上残して直線上に切除する。なお、切除線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切除面の仕上げ 標準仕様書7.6.7(1)(h)(b)による</p> <p>完全溶込み溶接 板厚が異なる場合の突合せ継手 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示による ( )</p> <p>スカラップの形状 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)</p> <p>15 入熱、バス間温度の管理 ( ) 適用箇所 図示による ( )</p> <p>16 溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>H12建造第1464号第二号に關する外観試験方法等 (7.6.12) ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ※抜き取り検査① ・抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 AOL (%) ※4.0 2.5</p> <table border="1"> <tr> <th>節</th> <th>全て</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>※第6水準</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・全数 ・工事現場溶接の場合 ※全数</p> <p>17 錆止め塗装 (7.8.2)</p> <p>塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面 図示による ( ) 耐火被覆材の接着する面以外 ※標準仕様書7.8.2(1)(7)~(7)以外の範囲 図示による ( )</p> <p>7.8.4 塗料の種類 (7.8.4)</p> <p>塗料の種類 ・鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 標準仕様書 表18.3.1 A種 屋内 標準仕様書 表18.3.1 ( ) 種 亜鉛めつき鋼面の錆止め塗料 標準仕様書 表18.3.2 ( ) 種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 標準仕様書 表18.3.1 A種 耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 標準仕様書 表18.3.1 ( ) 種 標準仕様書 表18.3.2 ( ) 種</p> <p>18 耐火被覆 (7.9.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付カークール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付カークール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>19 建方精度 (7.10.2)</p> <p>※JASS6 付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表5 [工事現場] による</p> <p>20 アンカーボルト等の設置 (7.10.3)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による ( ) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 図示による ( ) 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(標準仕様書 表7.10.1) 種別 標準仕様書 表7.10.1 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別(標準仕様書 表7.10.2) 厚さ 種別 ※A種 標準仕様書 表7.10.2 ・B種</p>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22			節	全て				検査水準	※第6水準				種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付カークール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付カークール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	—			・耐火塗料	—			<p>21 溶融亜鉛めつき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)</p> <p>22 梁貫通孔の補強</p> <p>補強形式 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-6) 適用箇所 ※図示による ( )</p>	<p>種別等 (7.12.4)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>垂始めつきの種類</th> <th>材料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table> <p>外観検査 ※行う 行わない</p> <p>8 1 工事用図面 (7.12.4)</p> <p>工事用着手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小) ※要 ( ) 部 不要</p>	垂始めつきの種類	材料	適用部位	・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		・B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所																																																																																																																														
	・21	・2.3程度	・15又は18・18	・基礎・土間																																																																																																																														
	・18	・2.3程度	・8	・均しコン																																																																																																																														
	・	・	・	・																																																																																																																														
	・	・	・	・																																																																																																																														
	・	・	・	・																																																																																																																														
	種別	適用箇所																																																																																																																																
	・A種	※図示による ( )																																																																																																																																
	・B種	※図示による ( )																																																																																																																																
・C種	※図示による ( )																																																																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																																																																	
・a種	※図示による ( )																																																																																																																																	
・b種	※図示による ( )																																																																																																																																	
・c種	※図示による ( )																																																																																																																																	
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																																																																																																																																
		・JIS規格による																																																																																																																																
		・JIS規格による																																																																																																																																
		・JIS規格による																																																																																																																																
		・JIS規格による																																																																																																																																
種類	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																															
・デッキプレート																																																																																																																																		
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造																																																																																																																																		
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																																																																																																
・16																																																																																																																																		
・19																																																																																																																																		
・22																																																																																																																																		
節	全て																																																																																																																																	
検査水準	※第6水準																																																																																																																																	
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																															
・耐火材吹付け	・乾式吹付カークール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付カークール																																																																																																																																	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																	
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																																																																																	
・ラス張りモルタル塗り	—																																																																																																																																	
・耐火塗料	—																																																																																																																																	
垂始めつきの種類	材料	適用部位																																																																																																																																
・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																																																	
・B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																	
・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																	
<p>春日部市 社会教育部 スポーツ推進課</p>	<p>日付 2025.7.1 図面No. SS-02</p>	<p>工事名称 大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事 図面名称 特記仕様書 (構造関係・その2)</p>																																																																																																																																

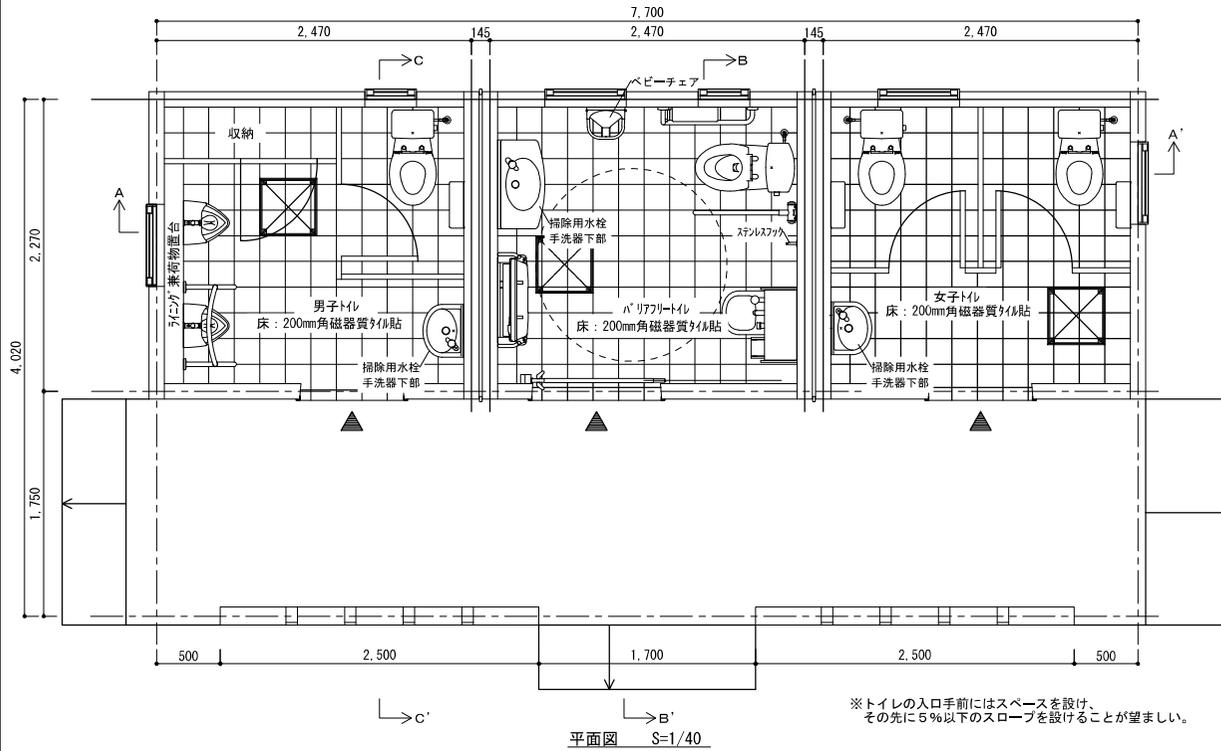


凡例

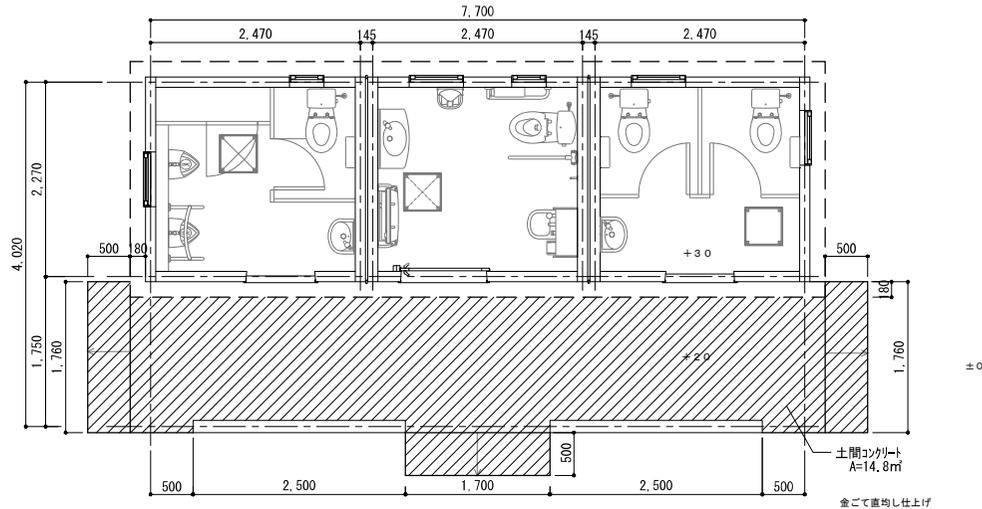
---	既設給水管
---	既設汚水排水管
—	既設電線管

※現場仮囲い  
ガードフェンスH=1800  
L=28.8m

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	配置図		
縮尺	1: 500 (A1)	図面番号	1 / 14
	1: 1000 (A3)		
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



平面図 S=1/40



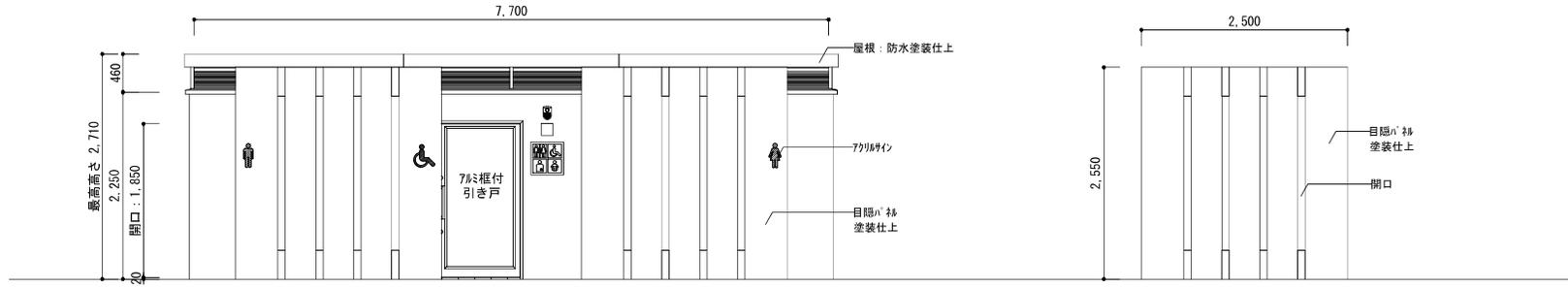
土間コンクリート平面図 S=1/40

仕様書

		仕様	色・品番	
構造	屋根	鉄筋コンクリート造		
	本体	鉄筋コンクリート造		
	目隠パネル	鉄筋コンクリート造		
外部仕上	屋根	鉄筋コンクリート造防水塗装仕上	グレー	
	外壁	鉄筋コンクリート造塗装仕上		
	建具	採光窓	ポリカーボネート F1x	ブルースモックマット
		複合パネル貼アルミ権付引き戸 (バリアフリー) 表示錠・管理錠付	アルミすべり出し窓 [ポリカーボネート]	ステンカラー/半自動式・ストッパー付 フレーム: ステンカラー/ブルースモックマット
	その他	アルミ水切		
		アルミ出入口枠		
		ステンレストイレサイン		ヘアライン仕上
		アクリルサイン		
		警報ランプ付プザー (バリアフリー)		赤
	目隠パネル	塗装仕上		
内部仕上	天井	鉄筋コンクリート造塗装仕上 [凹凸状小粒吹付]	ホワイト	
	内壁	鉄筋コンクリート造塗装仕上 [凹凸状小粒吹付]	ホワイト	
	床	200mm角磁器質タイル貼	男: ブラック系/女: ホワイト系/ピンク系	
	衛生器具	陶製 手洗器・便器		ホワイト
		掃除用水栓 (手洗器下部)		
		オストメイトバック [電気温水器付] (バリアフリー)		ホワイト
		ステンレス製樹脂被覆手すり		ホワイト
		ステンレス棚付2連紙巻器		
		化粧鏡		
	その他	ステンレスフック (バリアフリー)		
ベビーチェア (バリアフリー)			ホワイト	
ユニバーサルシート (バリアフリー)			クリアホワイト	
ステンレス排水目皿				
ライニング兼荷物置台 (男子)			ホワイト	
その他	ブース: メラミン化粧合板フラッシュ スライドラッチ付		男: グレー/女: ベージュ	
	収納: メラミン化粧合板フラッシュ 管理錠付 (男子)		グレー	
	点検口: 200mm角磁器質タイル貼 [450角]		男: ブラック系/女: ホワイト系/ピンク系	
特記事項	製品本体には、給排水・電気設備二次側一式を含む。 製品本体は「SPL表示認定企業製品及び、「ISO 9001:2015」「ISO 14001:2015」の認証取得企業製品とする。 製品本体は日本公園施設業協会生産物賠償責任保険加入製品とする。 長期耐力力は $F_e = 4.0 \text{ kN/m}^2$ (積雪1.5m未満)			

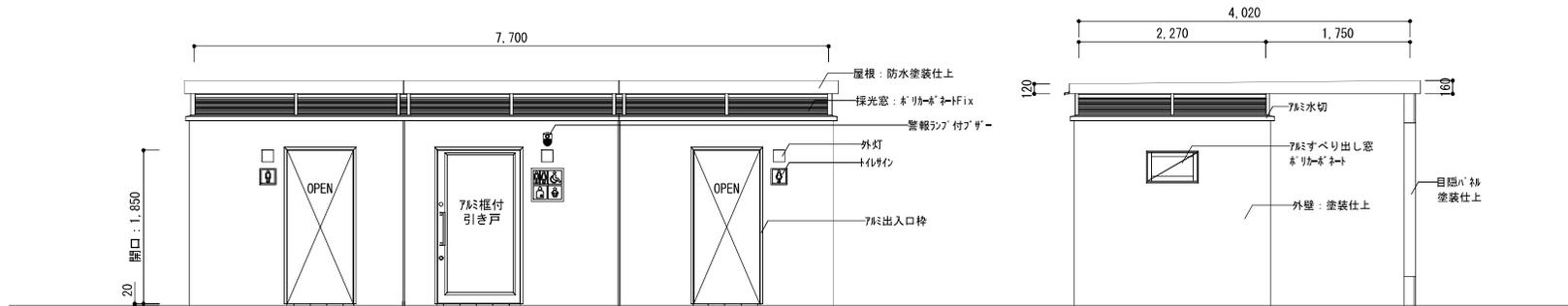
- ・ 建築面積: 30.95㎡ (7.7×4.02=30.954㎡)
- ・ 床面積: 30.95㎡ (7.7×4.02=30.954㎡)

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附属工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ平面図・仕様書		
縮尺	S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)	図面番号	2 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



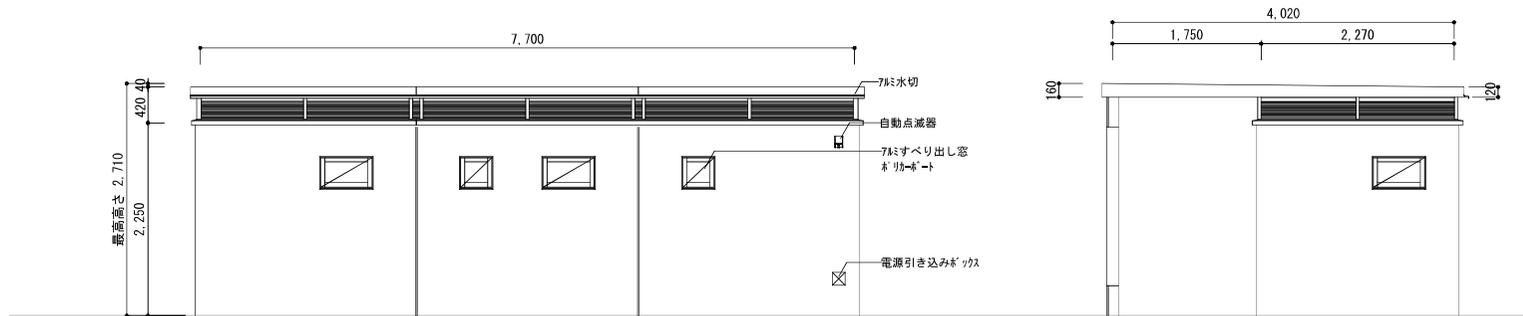
正面図1

目隠しハコ図



正面図2

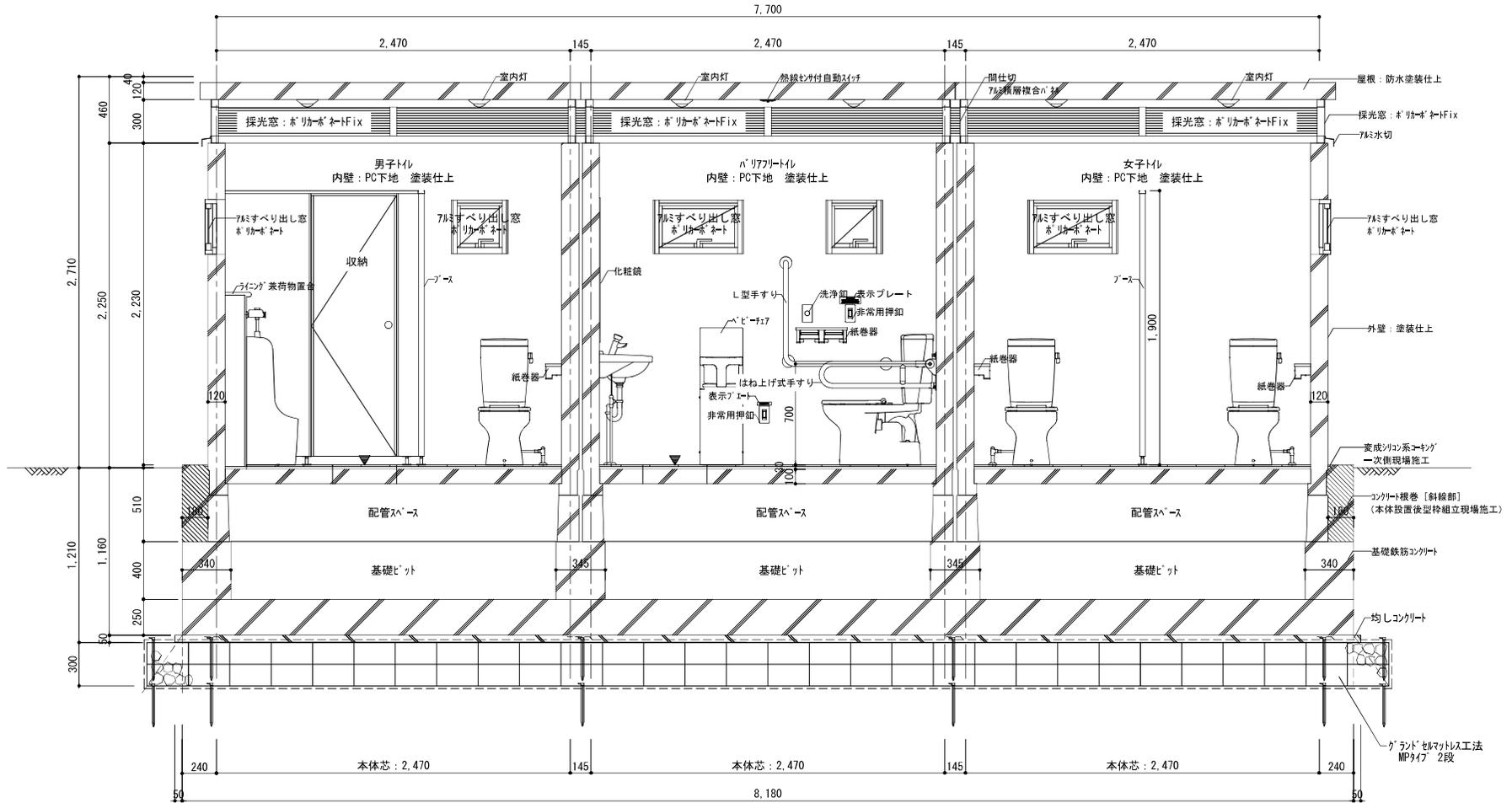
側面図



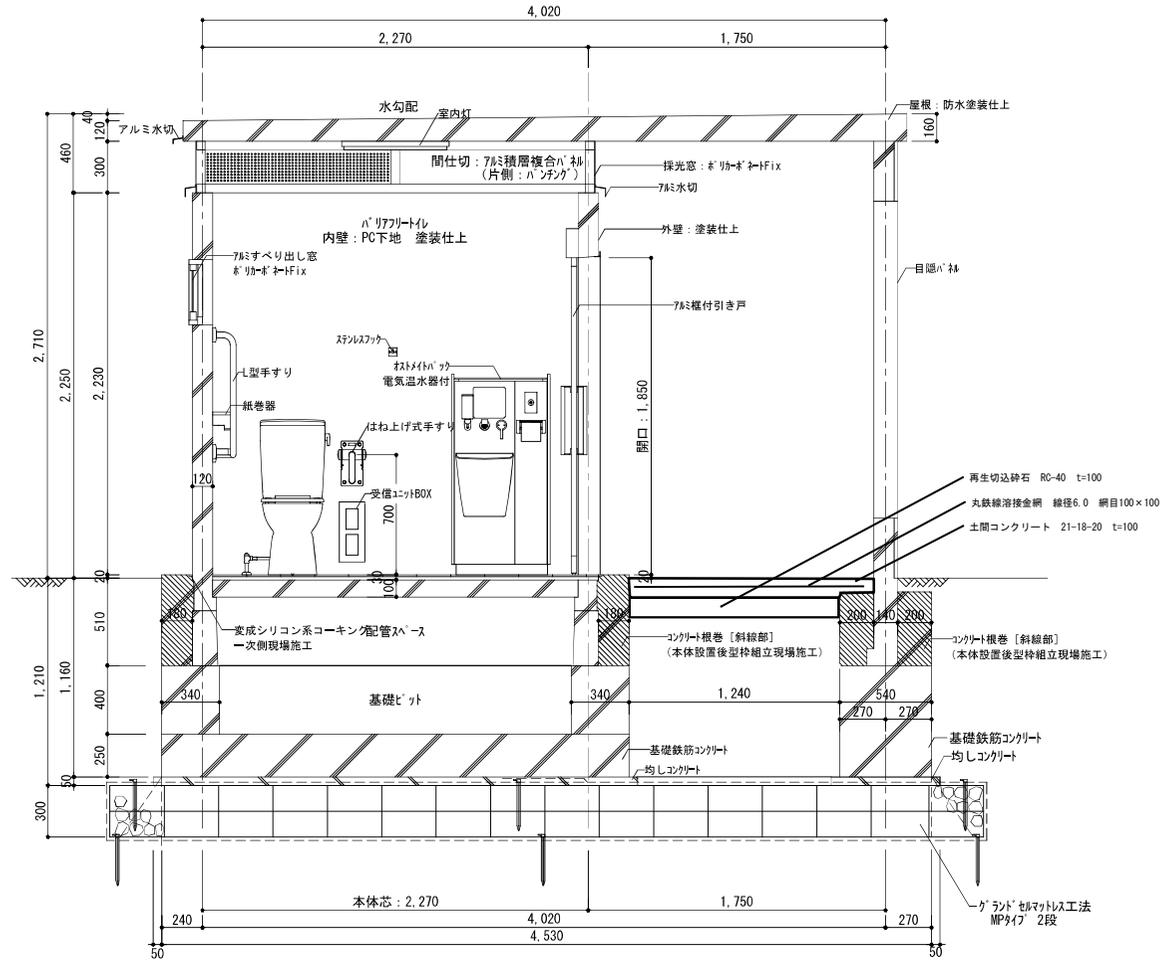
背面図

側面図

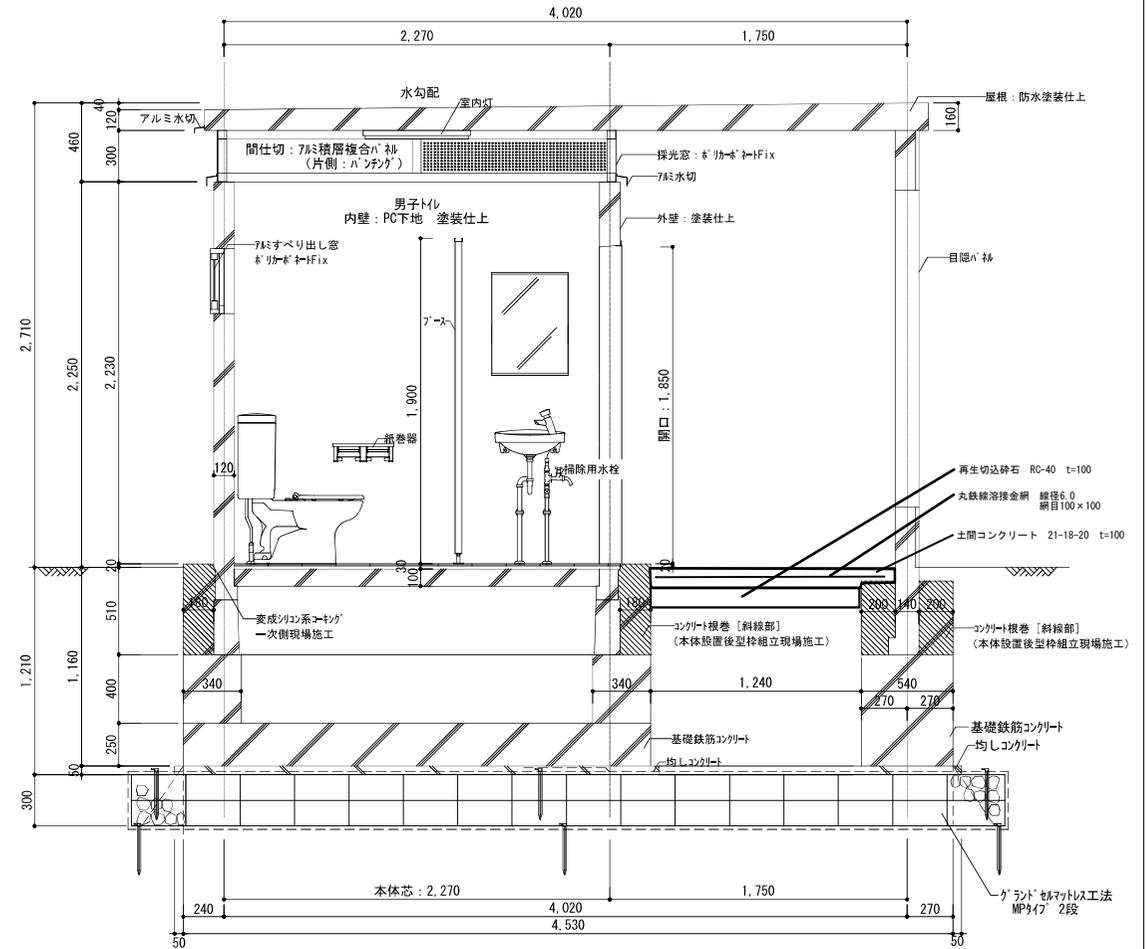
工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ立面図		
縮尺	S=1:30 (A1) S=1:60 (A3)	図面番号	3 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレA-A' 断面詳細図		
縮尺	S=1:15 (A1) S=1:30 (A3)	図面番号	4 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

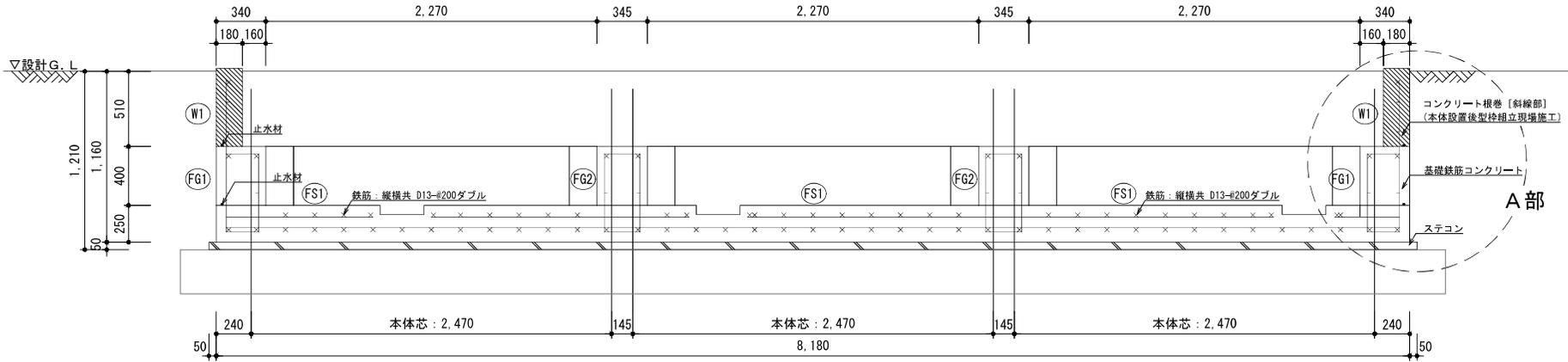


工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレB-B' 断面詳細図		
縮尺	S=1:15 (A1)	図面番号	5 / 14
	S=1:30 (A3)		
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

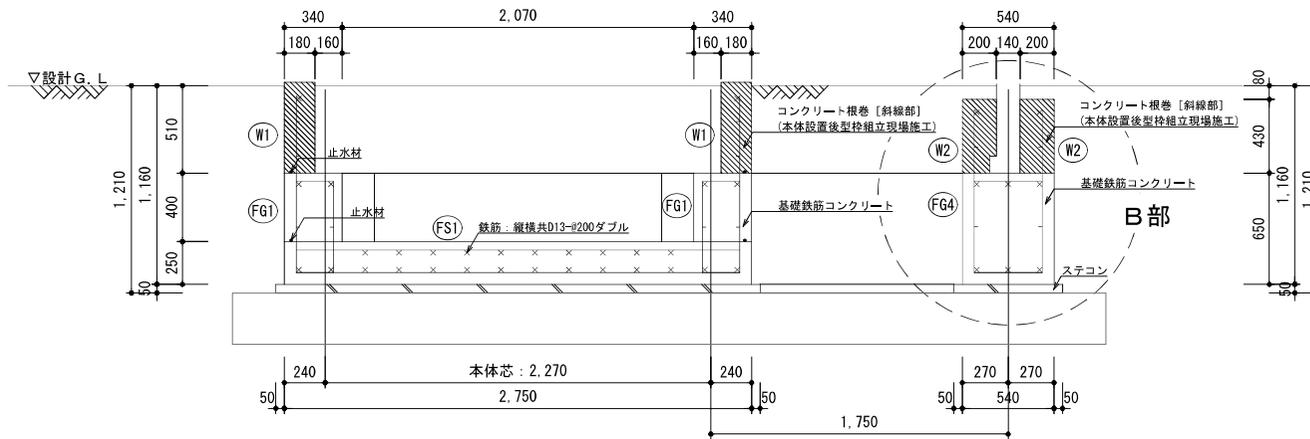


工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附属工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレC-C' 断面詳細図		
縮尺	S=1:15 (A1) S=1:30 (A3)	図面番号	6 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



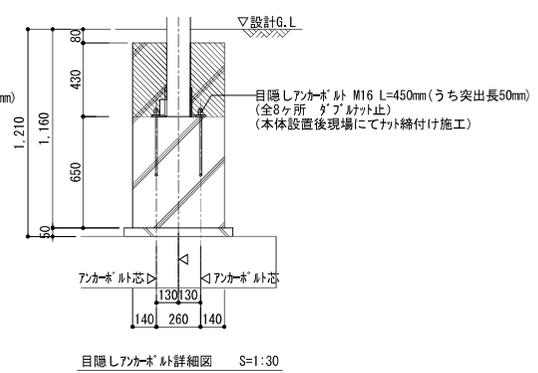
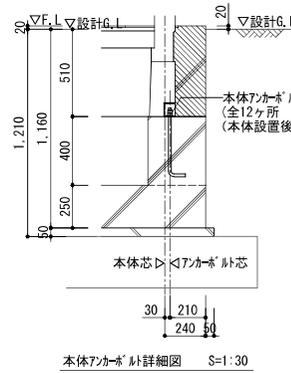
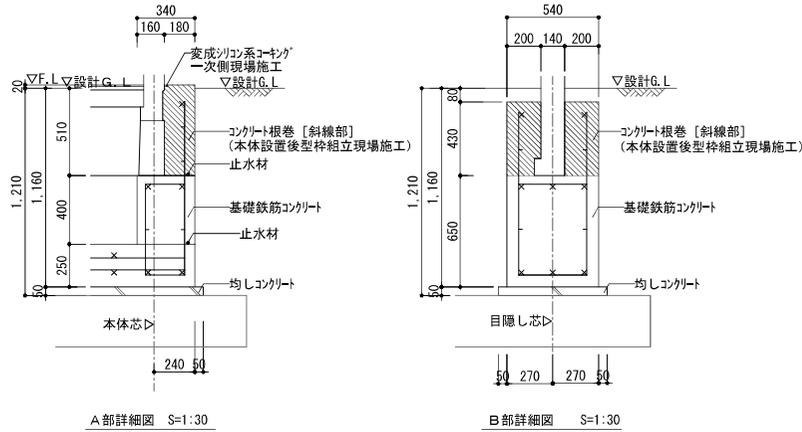


C-C' 断面図 S=1:30 (A3)



D-D' 断面図 S=1:30 (A3)

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ基礎断面図		
縮尺	S=1:15 (A1)	図面番号	8 / 14
	S=1:30 (A3)		
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



壁リスト表 S=1/50

符号	W1	W2
断面		
厚さ	180	200
縦筋	D10-@200シングル	D10-@200シングル
横筋	D10-@200シングル	D10-@200シングル

※天端は屋外側に水勾配をつけること

梁リスト表 S=1/50

符号	FG1	FG2	FG3	FG4
断面				
寸法	340x650	345x650	340x650	540x650
上端筋	2-D13	2-D13	2-D13	3-D13
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13	3-D13
STP	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
幅止筋	D10-@1,000	D10-@1,000	D10-@1,000	D10-@1,000

基礎リスト表 S=1/50

符号	FS1
断面	
厚さ	250
縦筋	D13-@200ダブル
横筋	D13-@200ダブル

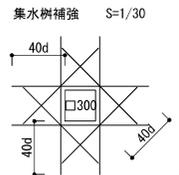
※組骨材は20mm以下とする

構造仕様

コンクリート	躯体 Fc=21N/mm <sup>2</sup>
	均しコン Fc=18N/mm <sup>2</sup>
鉄筋	D16以下 SD295
砕石	RC-40
止水材	12×28 (クニシール同等品)

鉄筋凡例

×	D13
-	D10



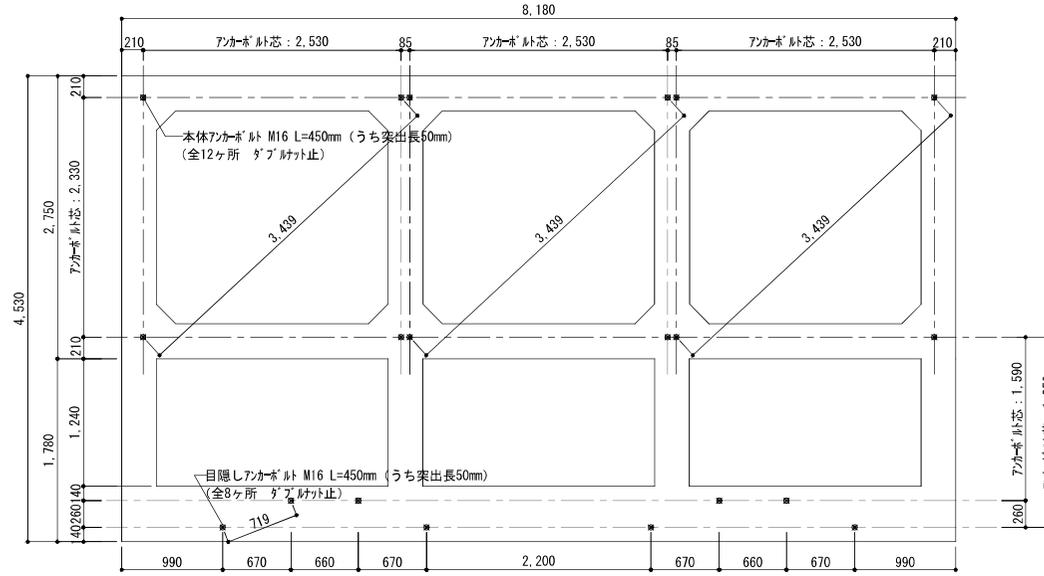
※地業・コンクリートの各施工及び鉄筋工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準じる事

※基礎鉄筋コンクリート及びアアンカーボルトは、一次側現場施工

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ基礎詳細図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

アンカーボルト配置図

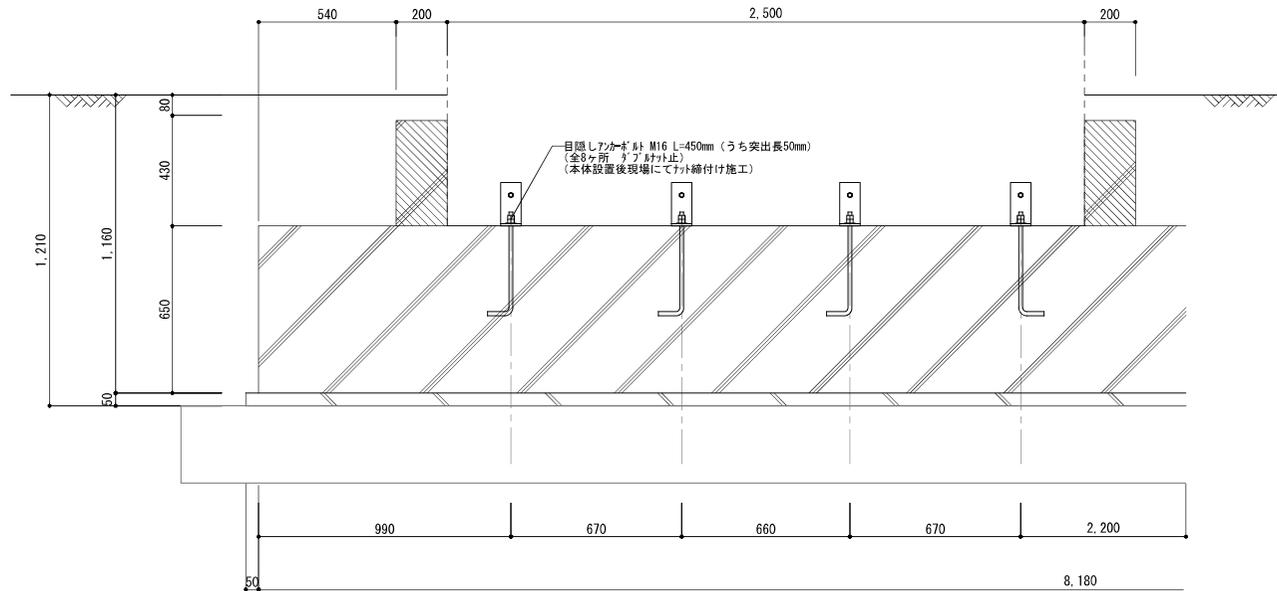
S=1:50 (A3)



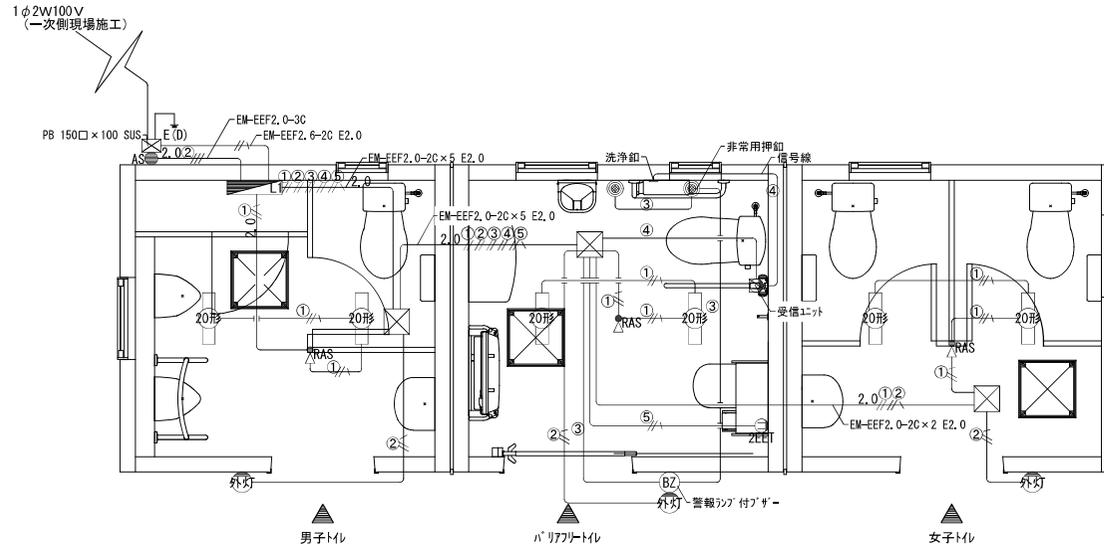
※アンカーボルトの建て方精度は±3以下とする事  
 ※アンカーボルトの建て方精度だけでなく垂直度にも注意する事

目隠しパネルアンカーボルト配置図

S=1:20 (A3)



工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレアンカーボルト配置図		
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



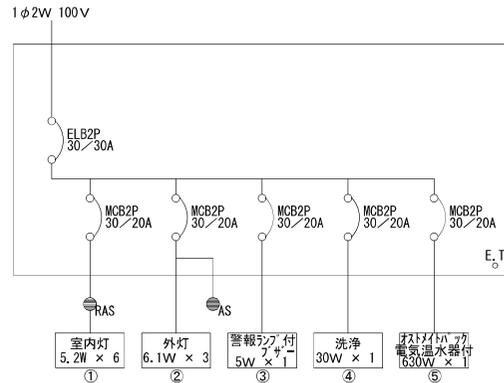
電気設備図 S=1/40

[ 凡 例 ]

	EM-EEF1.6-2C
	EM-EEF1.6-3C
	EM-EEF2.0-3C
	内部P. B 200×200×200 WPVE製

[ 特 記 ]

- ※ 室内灯は天井取り付けとする。
- ※ 電気配線実線部は既製品の本体に含む。
- ※ 電気配線点線部は一次側現場施工
- ※ 7-スの必要なものに関しては全て接地工事施工とする。
- ※ 接地工事は一次側現場施工
- ※ 電線はエコーケーブルを使用する。



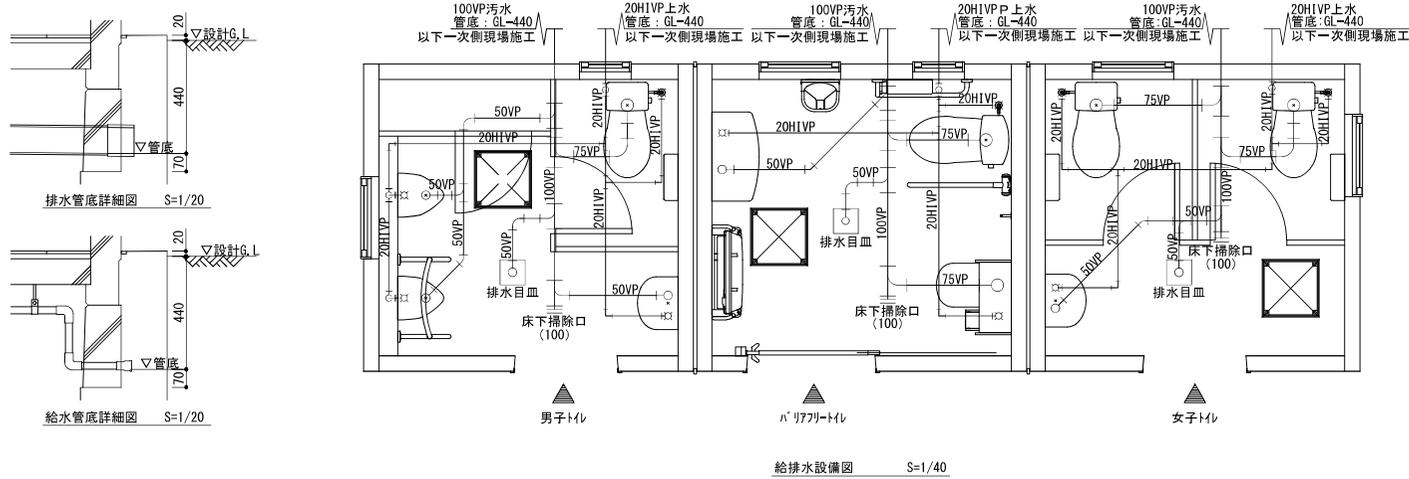
盤結線図  
合計消費電力：714.5W

姿図

室内灯 (20形)	N	外灯	N	警報シンパ付ブザー	N
天井取付・LED	6	壁面取付・防雨型	3	(5W) 赤	1
記号		記号		記号	

記号	名称	備考	N
L 1	分電盤	樹脂製	1
	熱線センサ付自動スイッチ	室内灯用 (天井取付)	3
	自動点滅器	外灯用 (タイマー付)	1
	非常用押釦	6A 300V AC	2
	7-スターミナル付接地二ロコネクタ	オストナイトバツク用	1
	一口コネクタ	洗浄用	1
	受信ユニット用ボックス		1
	外部P. B	スチール製・7-ス端子付	1

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ電気設備図		
縮尺	S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)	図面番号	11 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



[ 凡 例 ]  
 H1VP 給水管：水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP)  
 床下：硬質ポリフォーム断熱材巻  
 VP 排水管：硬質塩化ビニル管 (VP)

[ 特 記 ]  
 ※ 給排水管点線部は一次側現場施工

給排水設備図 S=1/40

衛生器具表

男子トイレ

品名	品番	色番・仕様	N
小便器	UFH508CR, T600PN,	TOTO ホワイト #NW1	2
洋式大便器	CS670B, SH670BA, TC300V6,	TOTO ホワイト #NW1	1
手洗器	L30D, TL19AR (自閉式水栓),	TOTO ホワイト #NW1	1
掃除用水栓	T200CSNR13,	TOTO キー式水栓	1
小便器用手すり	T112CU22 VWTOKU,	TOTO ステンレス樹脂被覆タイプφ34 ホワイト #NW1	1
紙巻器	YH701,	TOTO ステンレス 棚付2連	1
化粧鏡	YM4560FE (450×600),	TOTO 耐蝕仕様	1
排水目皿	HSUT-20L200N,	ロンシール トラップ・盗難防止用フェン付	1

女子トイレ

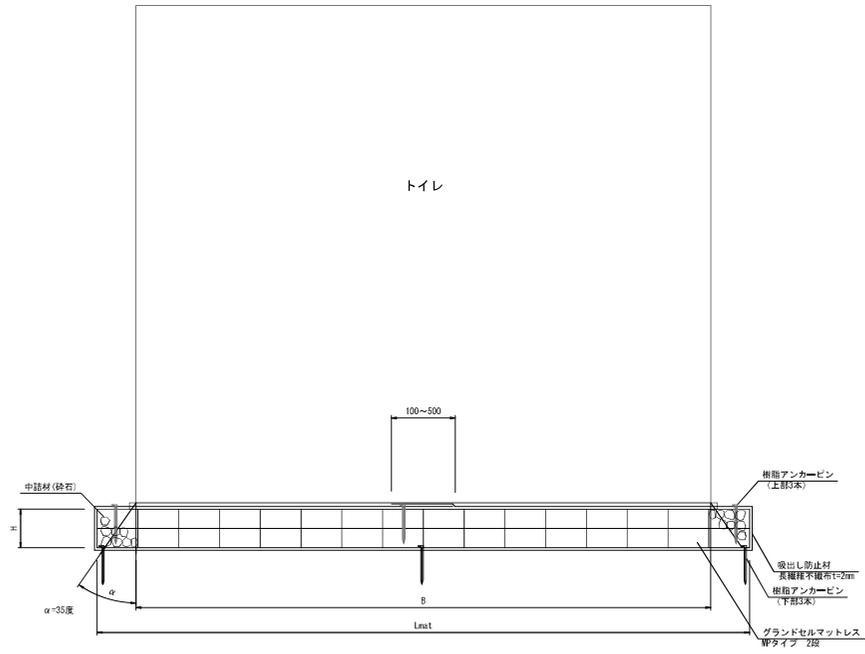
品名	品番	色番・仕様	N
洋式大便器	CS670B, SH670BA, TC300V6,	TOTO ホワイト #NW1	2
手洗器	L30D, TL19AR (自閉式水栓),	TOTO ホワイト #NW1	1
掃除用水栓	T200CSNR13,	TOTO キー式水栓	1
紙巻器	YH701,	TOTO ステンレス 棚付2連	2
化粧鏡	YM4560FE (450×600),	TOTO 耐蝕仕様	1
排水目皿	HSUT-20L200N,	ロンシール トラップ・盗難防止用フェン付	1

バリアフリートイレ

品名	品番	色番・仕様	N
高座面大便器	CS20AB, SH30BA, TC301V6, HE15JR,	TOTO ホワイト #NW1	1
オストメイトパック	UAS81LDB2NW (電気温水器付),	TOTO ホワイト #NW1	1
大型手洗器	L270D, TL19AR (自閉式水栓),	TOTO ホワイト #NW1	1
掃除用水栓	T200CSNR13,	TOTO キー式水栓	1
手すり	T112H8R (はね上げ式), T112CL10 (L型),	TOTO ステンレス樹脂被覆タイプφ34 ホワイト #NW1	各1
紙巻器	YH701,	TOTO ステンレス 棚付2連	1
ステンレスフック	YKH20R,	TOTO ステンレス・ストッパー付	1
ベビーマット	YKA15S,	TOTO ホワイト	1
ユニバーサルシート	US-13,	Combi クリアホワイト	1
化粧鏡	400×1000,	特注 耐蝕仕様	1
排水目皿	HSUT-20L200N,	ロンシール トラップ・盗難防止用フェン付	1

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレ給排水設備図		
縮尺	S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)	図面番号	12 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

標準断面図

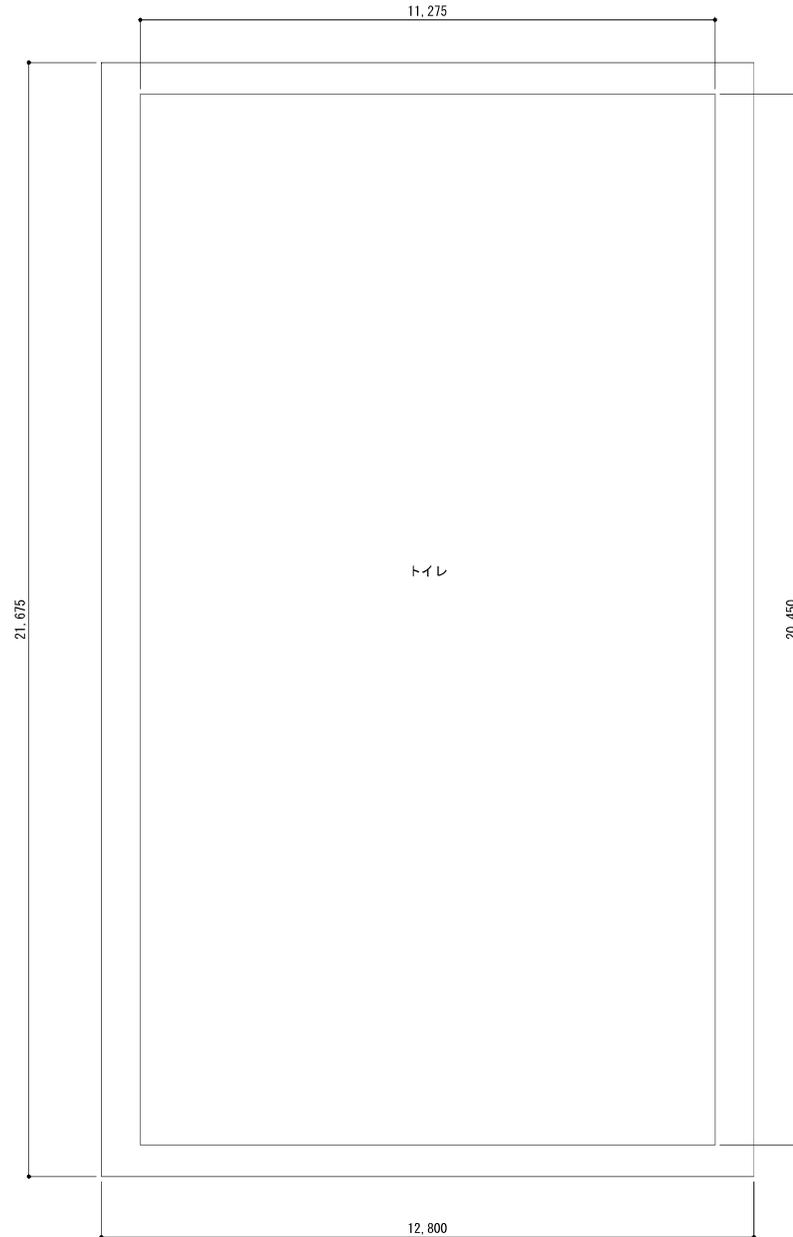


グランドセルマットレス寸法表

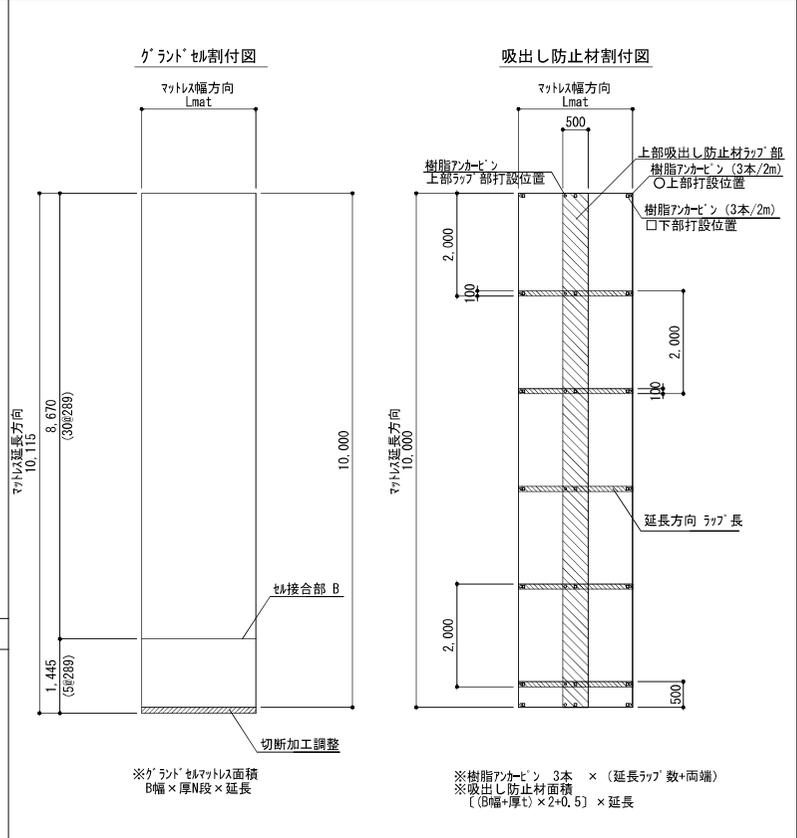
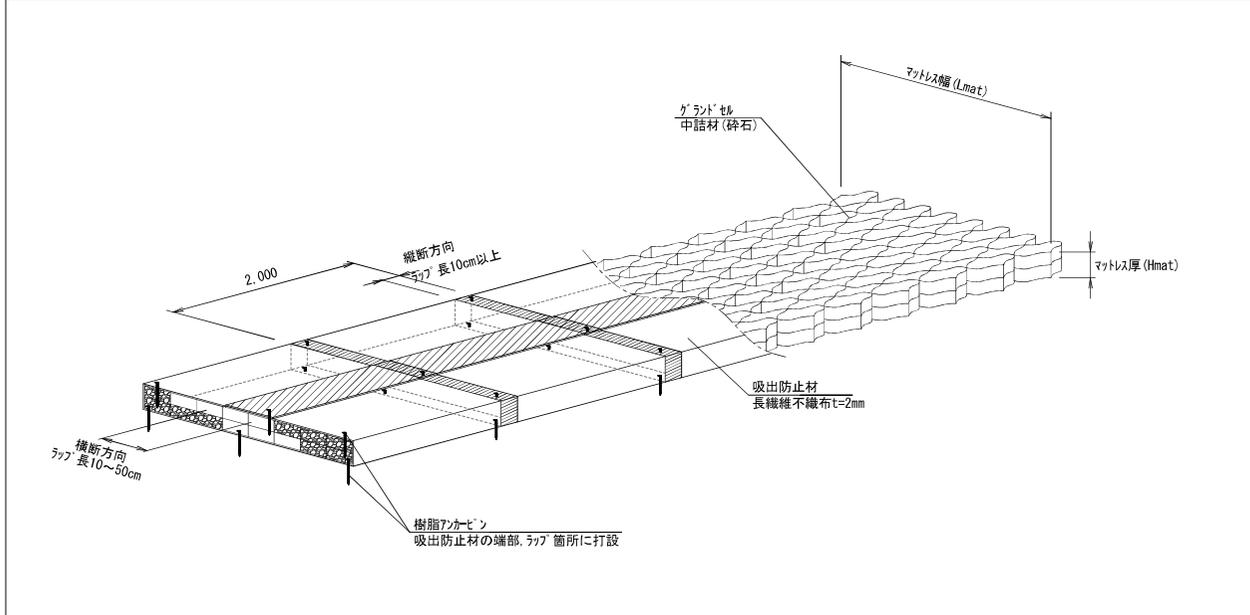
呼び名(上部工)	B(mm)	セルタイプ	H(mm)	セル深(mm)	段数(N)	セル巾(mm)	セル数	Lmat(mm)	流出防止材(mm)
トイレ B=4,51m L=8,18m	4,510	150MP	300	150	2	320	16	5,120	11,340
トイレ B=4,51m L=8,18m	8,180	150MP	300	150	2	289	30	8,670	-

※敷設する地盤を過湿りや著しく軟弱な箇所には、砕石を用いて不陸調整(均し)を行うこと

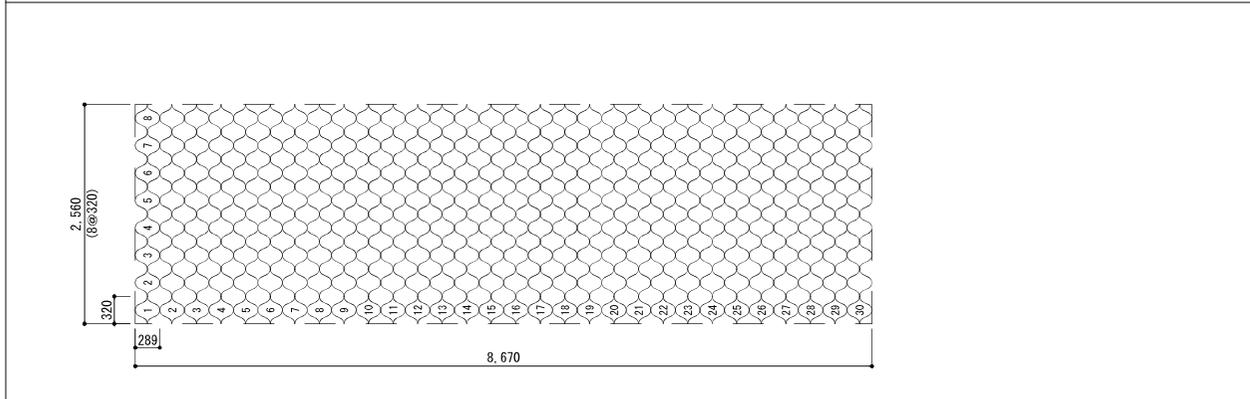
割付図



工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	トイレグランドセルマットレス工法		
縮尺	S=1:50(A1) S=1:100(A3)	図面番号	13 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

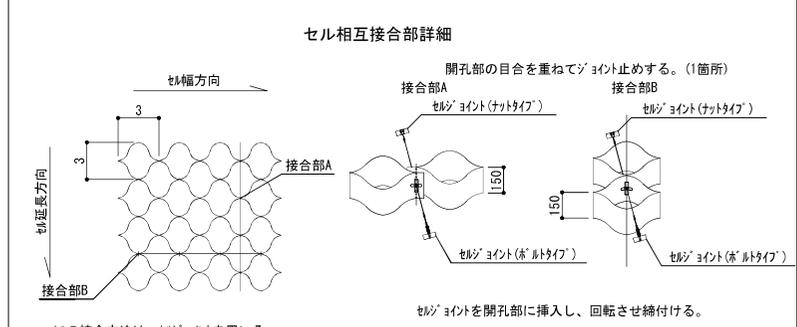


ゲランド®セル標準展開図 (GN-150MP) S=1/60 (A3)



特記事項	NETIS: CG-160016-VR
基礎地盤排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な排水処理を施すこと</li> <li>予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと</li> <li>施工中は、仮排水工を設けるなどセル内部へ水を導かないように排水処理を行うこと</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること</li> </ul>
基礎材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>碎石、再生碎石などを使用する。</li> <li>締固めは、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること</li> </ul>
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計条件との違いがみられる場合は、再度調査を行い設計の見直しなど適切な処理を行うこと</li> </ul>
ジオセル	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品は実物大実験などを行い性能を立証されているものとする</li> <li>シートと碎石のせん断抵抗角を確認している製品とする</li> <li>ジオセル接続強度は、滑着強度以上を保持すること (セル高150mmは2130N以上、200mmは2840N以上)</li> </ul>

セル相互接合部詳細図 S=1/30 (A3)



セルの接合方法は、セルジョイントを用いる。ただし、加工箇所等はカクシングビスまたはスチールを推奨する。

工事名	大沼公園広域受換換点施設整備附属工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	ゲランド®セルマットレス工法詳細図		
縮尺	四示	図面番号	14 / 14
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			